【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】令和5年12月7日(2023.12.7)

【国際公開番号】WO2022/208606
【出願番号】特願2023-509920(P2023-509920)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｔ 7/00(2017.01)
Ｇ０６Ｖ 40/18(2022.01)
Ｇ０６Ｖ 10/77(2022.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｔ 7/00 ５１０Ｄ
Ｇ０６Ｖ 40/18
Ｇ０６Ｔ 7/00 ３５０Ｂ
Ｇ０６Ｖ 10/77

【手続補正書】
【提出日】令和5年9月11日(2023.9.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１のフレームレートで撮影された複数フレームの画像から、合焦範囲外で撮像された画像を含む一部の画像を選択する選択手段と、
前記一部の画像から特徴量を抽出する抽出手段と、
前記抽出された特徴量と、前記特徴量に関する正解を示す正解情報とに基づいて、前記抽出手段の学習を行う学習手段と
を備えることを特徴とする学習システム。
【請求項２】
前記複数フレームの画像は、生体の虹彩を含む画像であり、
前記抽出手段は、虹彩認証に用いる前記特徴量を抽出する
ことを特徴とする請求項１に記載の学習システム。
【請求項３】
前記選択手段は、前記合焦範囲付近の画像を、前記一部の画像として選択することを特徴とする請求項１又は２に記載の学習システム。
【請求項４】
前記選択手段は、前記第１のフレームレートよりもレートの低い第２のフレームレートに対応する画像を、前記一部の画像として選択することを特徴とする請求項１から３のいずれか一項に記載の学習システム。
【請求項５】
前記第２のフレームレートは、前記学習手段で学習した前記抽出手段を運用する際のフレームレートであることを特徴とする請求項４に記載の学習システム。
【請求項６】
第１のフレームレートで撮影された複数フレームの画像から、合焦範囲外で撮像された画像を含む一部の画像を選択し、前記一部の画像から特徴量を抽出し、前記抽出された特徴量と、前記特徴量に関する正解を示す正解情報とに基づいて学習された抽出手段と、
前記抽出された前記特徴量を用いて、認証処理を実行する認証手段と

を備えることを特徴とする認証システム。
【請求項７】
第１のフレームレートで撮影された複数フレームの画像から、合焦範囲外で撮像された画像を含む一部の画像を選択し、
前記一部の画像から特徴量を抽出し、
前記抽出された特徴量と、前記特徴量に関する正解を示す正解情報とに基づいて、前記抽出手段の学習を行う
ことを特徴とする学習方法。
【請求項８】
第１のフレームレートで撮影された複数フレームの画像から、合焦範囲外で撮像された画像を含む一部の画像を選択し、
前記一部の画像から特徴量を抽出し、
前記抽出された特徴量と、前記特徴量に関する正解を示す正解情報とに基づいて、前記抽出手段の学習を行う
ようにコンピュータを動作させることを特徴とするコンピュータプログラム。
【請求項９】
合焦範囲外で撮像された画像と、当該画像に含まれる特徴量を示す情報と、の組を教師データとして機械学習を行うことにより、合焦範囲外で撮像された画像を入力として当該入力された画像の特徴量に関する情報を出力する学習モデルを生成する、学習モデル生成装置。
【請求項１０】
合焦範囲外で撮像された画像と、当該画像に含まれる特徴量を示す情報と、の組を教師データとして機械学習を行うことにより生成された学習モデルを用いて、合焦範囲外で撮像された画像を入力として当該入力された画像の特徴量に関する情報を推定する推定装置。